

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

感染性結膜炎の原因微生物に関する調査研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 眼科 (研究責任者) 稲田 紀子

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2020年 3月 30日

<研究の目的と意義>

感染性結膜炎は、細菌、真菌、またはウイルスなどの病原微生物を原因として発症する結膜の炎症性疾患です。感染性結膜炎は、その原因微生物の種類によって症状や治療方法が異なるため、正確な原因微生物診断が求められます。感染性結膜炎にかかった方を原因病原体によって分類し、症状、眼球の状態、治療方針を見直して研究することで、感染性結膜炎の特徴や治療方針を検討する上で、重要な診療上の問題点を再確認できます。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録に記載されている、1) 基本情報(年齢、性別、臨床診断名)、2) 細隙灯顕微鏡所見、3) 発症から治癒までの期間(罹病期間)、4) 微生物学的検査結果、5) 治療歴、6) 合併症等を使用します。

<対象となる患者さん>

西暦 1997年 1月 1日~西暦 2016年 12月 31日の期間に感染性結膜炎の治療を開始された方

<研究の方法>

診療録(カルテ)を閲覧して、下記項目の情報を集積して検討します。

- 1) 年齢、性別、臨床診断名
- 2) 眼科受診時(初診時、治療中、最終観察日)の視力、眼圧、眼部の所見、随伴する所見
- 3) 原因微生物検査の検査結果
- 4) 治療で使用された薬剤、治療開始後の経過

これらは、通常診療で必要とされる情報であり、また調査が治療に影響を与えることはありません。

この研究をすることによる患者さんへの新たな検査等の負担は、ありません。

収集したデータは、個人情報の保護に留意して厳重に管理します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

眼科 氏名: 稲田 紀子

電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 03-3972-8111